

助成者	柴田 京子	活動期間	2023年4月～2026年3月（予定） 活動中
所属機関	特定非営利活動法人 地球市民の会	職 名	ミャンマー事業プロジェクトマネージャー

ミャンマー・山岳少数民族地域における若者発信での「分別でゴミを資源に」推進事業

【活動場所】 ミャンマー シャン州、ピンラウン郡の3 村

【事業目的】 分別によるゴミの資源化実践、山岳少数民族地域発信で適切なゴミ処理方法の普及を通じ、環境負荷を減らす地域の仕組みを作る。ミャンマーの村落部では、ゴミの収集はなく、分別の意識もない。一方で、プラスチックの袋や容器の多用と無秩序な投棄、生ゴミの放置により、水質・土壌汚染や発生した虫の媒介による下痢や嘔吐等が引き起こされている。しかし、このようなゴミが原因となる問題について知識のない人が多い。そこで、現地NGOや地域の若者たちとの協働で地域を巻き込む形での活動を実施、地域住民の意識改革を促し、発信していくことで将来的に本事業をモデルとして周辺地域に活動を波及させていく。



生ゴミ堆肥作製指導（農業研修）



環境祭りの様子

【活動内容】

- ①ゴミの分別指導：各家庭・学校・僧院などにゴミ箱を設置し、研修で指導
- ②ゴミ収集体制整備：集落外にゴミ捨て場を整備し、収集は2週に1回実施
- ③ゴミの資源化：生ゴミ堆肥作り実施（生ゴミ堆肥を使用したモデル菜園設置）
- ④啓発活動：研修とゴミ拾いキャンペーンの実施
- ⑤先進地視察による経験の共有
- ⑥活動の発信と動画教材の作成
- ⑦「環境祭り」の開催：年1回、活動の発表とともに、楽しい催しで活動を広める。

【活動状況】

1年目はカウンミー村、2年目はナンパリン村で実施。国内紛争の影響を受け24年6～10月は活動休止を余儀なくされたが、計画した活動は時期を遅らせ概ね年度内に完了。3年目はカウートー村で実施中であるが、25年3月に大地震が発生し事業地も被害を受け、災害復興支援を行いながらの活動となっている。青年グループ、独身グループ、現地NGOを中心にSNSを活用して活動が展開され、年配者も委員会メンバーに加わるなど波及効果もでてきている。